



【報道用資料】

2011年9月22日

日本コカ・コーラ株式会社

111 Navy Chair が「東京チェアシティ展」のアイコンに UIA2011 東京大会建築会議でサステイナブルな未来の実現を提案

日本コカ・コーラ株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：ダニエル・H・セイヤー）は、UIA2011 東京大会建築会議（以下、UIA）期間中、東京・丸の内で開催される「東京チェアシティ展」に、ザ コカ・コーラ カンパニーと Emeco 社が共同開発した、1脚あたりPETボトル111本分の再生PET素材を使用し、デザインとエコを兼ね備えたイス、「111 Navy Chair」50脚を出展いたします。また、日本コカ・コーラは、UIA 開催中、オフィシャルサプライヤーとして大会関係者にコカ・コーラ社製品約 25,000 本を提供いたします。

UIA は 130 万人を超える世界の建築家を代表する組織で、124 ヶ国が加盟するこの世界最大の建築イベントは、1948 年以降 3 年に 1 度、世界の各都市で開催されてきました。24 回目の実施となる今年、初めて日本で開催されます。大会には世界中から著名な建築家や研究者、学生などが集まり講演やセミナー、展示会など多彩なプログラムが開かれ、これからの建築や都市のあり方を探ります。

「東京チェアシティ展」は、「記憶のチェア、記憶のベンチ」をテーマに、丸の内周辺で行われる UIA の各イベントを広く知っていただくことを目的に開催されます。丸ビルをはじめ人が集う場所に、空間を形成する最小単位であるイスを置き、触れ、座り、一息つくことで、さまざまな「記憶」と向き合い、未来を考える展示を行うとともに、リフレッシュメントスペースを提供します。

その「東京チェアシティ展」のアイコンに、デザインとエコを両立した「111 Navy Chair」が選ばれました。9月23日（金）より各会場の展示期間中、東京チェアシティが開催される5つの建物内、合計8ヶ所すべての入口に展示されるとともに、丸ビル1Fの「CAFE EASE」では、カフェのイスとして「111 Navy Chair」26脚が使用されます。

「111 Navy Chair」は、2010年に全世界で発売されて以来、そのデザインとともにコンセプトが広く受け入れられています。日本コカ・コーラは、持続可能な世界をめざす1つのアイコンとして「111 Navy Chair」の東京チェアシティ展への出展を通じて、世界中にサステイナブルな未来の実現を提案いたします。

【「111 Navy Chair」展示イメージ】

【111 Navy Chair】



